

日本NGO連携無償資金協力 中間報告書

1 基本情報	
(1) 案件名	ミャンマーの竹産業振興のための研修センター設立事業(第2年次)
(2) 事業地	ミャンマー連邦共和国ヤンゴン地方域タイチー郡区
(3) 進捗状況	ア ほぼ計画どおり進捗している。 イ 計画より進捗している。 ウ 計画どおり進捗していない。
(4) 贈与契約締結日 及び事業期間	・贈与契約締結日:2024年6月4日 ・事業期間:2024年6月16日~2025年6月15日
(5) 供与限度額 及び執行実績	・供与限度額:60,510,588円 ・実績:16,661,280円(11月30日現在)
(6) 団体名・連絡先、事 業担当者名	事業申請書記載より変更なし
(7) 事業変更の有無	ア 事業変更承認の有無:有 (ア) 申請日:2024年11月21日 承認日:2024年11月29日 内容:建設工事内容の変更 イ 事業変更報告書の有無:有 (ア) 報告日:2024年7月31日 内容:現地スタッフ給与月額単価の変更 (イ) 報告日:2024年11月11日 内容:本部スタッフの変更

2 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標 (今期事業達成目標)	竹産業研修センターが現地の人々の力で運営され、ミャンマー国内の生産者が、より高い品質でより効率的に竹製品を生産できるようになる。
	研修センターの設備が拡充され、十分な人数の生産者を対象に、効率よく研修を実施できるようになる。
(2) 活動内容	<p>実施体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1年次事業から連続的に、現地の社会情勢の把握に努めながら、安全に現地拠点および事業活動の管理・運営を継続した。 <p>活動1：研修センターの設立</p> <p>【1-1】施設建設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミャンマーラタン・竹事業者協会（以下、MRBEA）と協議し、研修員宿舎の設計を中心とした工事内容に係る事業変更を実施した。現地の社会経済の混乱により資材の市場価格の変動が激しいことや、輸入資材の流通が不安定であることから、必要書類の準備に時間を要した。 <p>【1-2】技術機械の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修センターの技術機械として、竹工機械（4連ひごひき機）1台を大分県の製造業者へ発注した。2025年2月に完成予定である。同機の輸入準備としてMRBEAが輸入者登録の更新手続きを開始した。 ・研修センターの技術機械として、竹材加工用煮沸窯、4連ひごひき機の受け台を現地の製造業者へ発注し、2024年8月に完成した。その他、竹ヒゴの生産に係る治具の現地製造を試験的に実施した。 <p>【1-3】研修センター運営体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MRBEAと定期的にミーティングを実施し、研修センターの建設計画や研修計画、運営計画について協議した。 <p>活動2：生産者への技術指導と指導員養成</p> <p>【2-1】日本人専門家による指導員向け研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業での研修準備として、第1年次の指導員研修（竹ヒゴ、マーケティング）参加者へのフォローアップと、技術調査を継続した。 ・専門家1（機械）甲斐田力専門家と、リモートで依頼業務の整理とスケジュール確認を実施した。事業後半、活動1-2の4連ひごひき機が研修センターに到着した後に現地派遣の予定となった。 ・2024年10月、専門家2（クラフト技術）垣内幸彦専門家と、依頼業務の打合せを実施した。2024年10月17日より、同専門家を現地へ派遣し、表面加工（漆塗り）技術試験と研修準備を開始した。 <p>【2-2】日本招聘研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業での活動計画なし。 <p>【2-3】生産者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年12月、MRBEAが一般生産者向けに研修を開催予定である。研修内容に係る協議と、準備への側面支援を実施した。実施経費はMRBEAが自力で調達する。 <p>【2-4】市場研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年9月、専門家3（卸売）宮崎文健専門家、専門家4（商品開発）園田高志専門家へ、商品開発に係る相談を実施した。ミャンマ

	<p>一で生育する竹の特徴を生かした商品開発案として、食器カトラリー類が挙げられ、現地で試作と試作品試験を実施した。</p> <p>活動3：加工品に有用な竹の植林</p> <p>【3-1】植林</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業での植林は2025年6月予定で、事業後半に着手する。 <p>【3-2】竹林管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植林済みの既存林の管理を継続した。昨年の大雨洪水によって水没した60本程度について、2024年7月、自己資金で準備した同程度の本数を別の区画に再植林した。 ・2024年12月、MRBEAが一般生産者向けに竹林管理研修を開催予定である。研修内容に係る協議と、準備への側面支援を実施した。
(3) 達成された成果	<p>成果1：研修員宿舎が適正に供用され研修の効率が向上する。</p> <p>成果2：現地指導員による生産者向けの指導が円滑に実施できるようになる。</p> <p>成果3：研修で習う竹林の管理手法が4haの広さで実践される。</p> <p>→ いずれも測定方法が事業後半の活動に直結する成果のため、完了報告書で報告する。</p>
(4) 今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・活動1-1施設建設において、工事内容に係る変更承認申請が必要となったが、社会経済の混乱や天候不順のために申請準備に時間を要し、本報告時点で着工までに1ヶ月程度の遅れが見込まれている。事業後半のスケジュール調整によりリカバリー可能な見込みである。 ・上述以外の活動はほぼ順調に遂行しており、事業後半も、現地の社会情勢の把握に努めながら、安全かつ適正に事業活動を継続する。